

interview

作曲家兼ピアニスト

まきた ゆうや
蒔田裕也さん

西部中学校出身。名古屋芸術大学非常勤講師。
名古屋芸術大学音楽学部作曲理論コース卒業、
同大学大学院音楽研究科作曲専攻修了。昨年
8月に開催された「東京国際歌曲 作曲コン
クール」にて第2位を受賞。作曲のみならず
歌曲^{*}や合唱、オペラの伴奏家としても活躍。

※クラシック音楽における独唱声楽曲（または小人数の重唱声楽曲）



高校の文化祭で 切り開かれた作曲家の道

有名アーティストが新曲をリリースしても楽譜はすぐに公開されません。高校時代に吹奏楽部に所属していた私は文化祭を盛り上げるため、いち早く皆さんに披露できないかと考えた結果、何度も新曲を聴くことで、楽譜を作成し、演奏をすることにしました。発表されたばかりの曲を披露したときは盛り上がり、そこでの経験がきっかけで自分で楽譜を作ることの楽しさを実感し、作曲家を目指す決意をしました。



曲のイメージを伝える

曲名をつける。これは作曲をするうえで最も難しいことです。曲をイメージできる曲名が、皆さんに聴いてもらおうための入り口となりますが、漠然としていたり、想像しづらい曲名だと聴きたいと思ってもらえません。音楽というのには目に見えないものだからこそ、曲名は曲を引き立てる最大の役割であるため、最も苦労するところです。



個性を引き立てる音楽

新型コロナウイルスの影響により、歌を歌ったり、楽器を演奏する機会が減ってしまいました。音楽は歌や楽器を通して自分を表現する大事な一つのツールだと思っています。時代のおおりに受けてオンライン化が進む中、我々音楽家は生で音楽を届けることの大切さを再確認しました。

ぜひ会場へ足を運んでいただき、音楽を聴いて何か感じ取っていただけたり、自分も演奏してみたいと思ってもらえたりしたら、こんなに嬉しいことはありません。

